

## 平成22年度当初予算（要求ベース）の概要

### 1 予算要求額

(単位：億円)

区 分	21年度当初予算額 A	22年度当初要求額 B	B/A(%)
一般会計	( 5,025 )	( 4,910 )	( 97.7 )
	6,618	<b>6,617</b>	100.0
特別会計	3,007	2,827	94.0
企業会計	120	114	95.2

( ) は一般財源

### 2 歳入見込み

現時点における22年度の歳入見込みは以下のとおり。

(単位：億円)

	区 分	平成21年度 当初予算額 A	平成22年度 見込額 B	増減額 B-A	増減率 (B-A) /A
一般財源	県 税	2,252	1,850	△ 402	△17.8%
	└─ うち 法人関係税	521	298	△ 223	△42.8%
	└─ その他の税目	1,731	1,552	△ 179	△10.3%
	地方消費税清算金	362	332	△ 30	△8.1%
	地方譲与税	154	224	70	45.9%
	地方特例交付金	26	25	△ 1	△2.1%
	地方交付税等	2,076	2,363	287	13.8%
	└─ うち 地方交付税	1,576	1,610	34	2.2%
	└─ 臨時財政対策債	500	753	253	50.6%
	そ の 他	70	108	38	54.5%
	<b>小 計</b>	<b>4,939</b>	<b>4,903</b>	△ 36	△0.7%
特定財源	国庫支出金	699	758	59	8.4%
	県 債	526	500	△ 26	△5.0%
	そ の 他	368	449	81	22.2%
	<b>小 計</b>	<b>1,593</b>	<b>1,707</b>	114	7.2%
	<b>合 計</b>	<b>6,532</b>	<b>6,610</b>	78	1.2%
	臨時的歳入対策	<b>86</b>	<b>7</b>	△ 79	△91.9%

### 3 一般会計予算（要求ベース）の収支見込み

現時点の歳出要求額をベースに、22年度の歳入見込みを算出し、差し引きの収支状況を試算すると、次のとおり。

（ただし、今後の予算査定等により以下の数値は変動する予定）

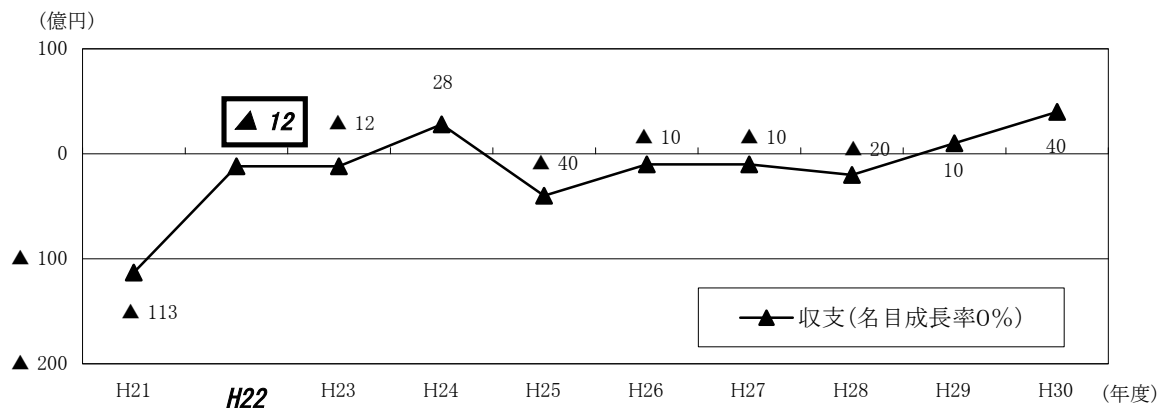
区 分	22年度予算(要求)ベース	(参考) 給与カット(117億円)前の収支
歳入見込み A	6,610 億円	6,610 億円
歳出要求額 B	6,617 億円	6,734 億円
収 支 A-B	<b>△ 7 億円</b>	<b>△ 124 億円</b>

#### 収支不足解消のための臨時的歳入対策の内訳(予定)

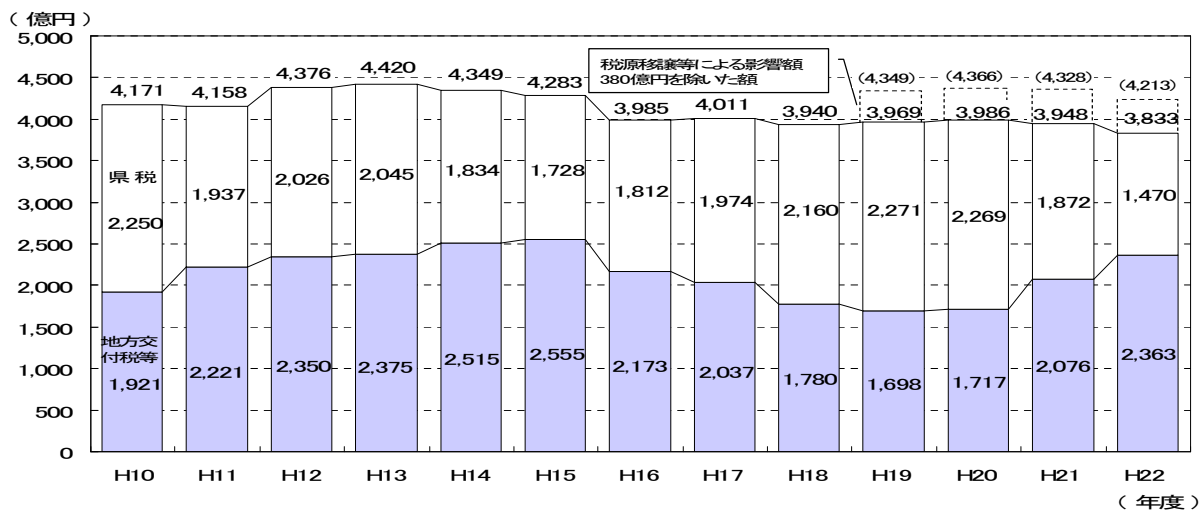
- ・ 遊休土地の売却 **7 億円**

※ 平成16年度に借入れた特定目的基金からの30億円及び平成19年度に借入れた企業会計からの40億円のうち、特定目的基金から9億円、企業会計から40億円を別途借換え。（特定目的基金からの借入れのうち21億円を償還）

#### <参考> 前回(改革前:H21.8月)の収支見通し



(参考1) 県税・地方交付税等を合わせた額の推移(当初予算ベース)

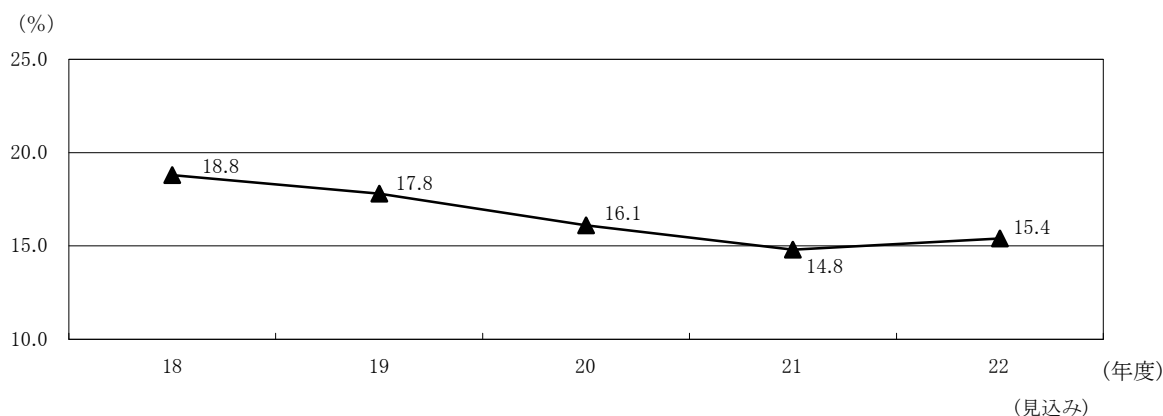


※地方交付税等：地方交付税+臨時財政対策債

※H11年度は骨格予算のため、6月補正後予算額

※三位一体の改革による税源移譲による制度改正の影響等により、H19に県税・地方交付税等が約380億円増加しているが、これは歳出の増に合わせたものであり、実質的な増にはつながない。

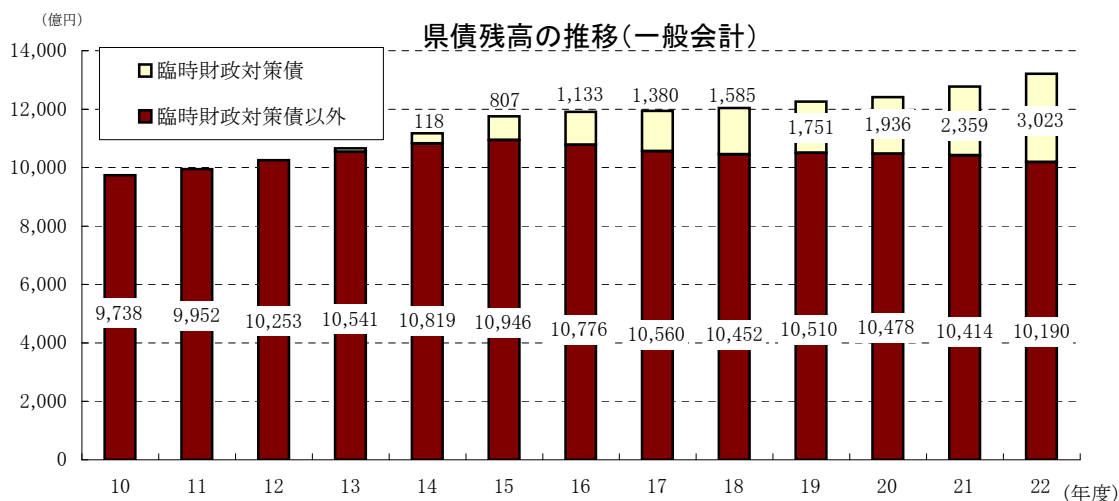
(参考2) 実質公債費比率の推移



(参考3) 一般会計県債残高見込み(臨時財政対策債以外)

(単位：億円)

21年度末残高見込 (11月補正後) A	22年度借入見込 B	22年度元金償還 見込 C	22年度末残高見込 A + B - C
10,413	500	723	10,190



※ 20年度までは決算額、21・22年度は現時点における見込みであり、今後、繰越等の状況により異動がある。